

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	②	健康づくりを支える環境の整備

事業名	飼い犬登録事業	担当課名	環境課
-----	---------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生予防、蔓延防止及び撲滅することにより、公衆衛生の向上の増進を図ることを目的とする。
(事業概要等)
狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録及び予防注射接種の促進業務

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	472	707	902	1,005	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
飼い犬登録頭数(新規)	頭	198	187	214	200
予防注射頭数	頭	1,376	1,422	1,473	1,500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
飼い犬登録により犬の管理を行うことにより、狂犬病予防注射を促進することで、狂犬病の発生予防を行った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	令和5年度から、マイクロチップを狂犬病予防法の鑑札とみなす狂犬病予防法の特例制度に参加したことにより、マイクロチップを装着・登録している飼い犬について窓口などでの登録手続きを不要にする。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特記事項なし
-----------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 狂犬病予防法に基づき、飼い犬の管理を行うとともに、狂犬病予防注射を促進することで、狂犬病の予防を図ることができるため、現行どおり継続して実施する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	②	健康づくりを支える環境の整備

事業名	防疫事業	担当課名	環境課
-----	------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症の発生を予防し、その蔓延の防止を図り、公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的とする。
(事業概要等)
感染症の発生の予防、感染症のまん延の防止の推進を図るため、衛生害虫の駆除を実施する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	651	819	842	910	
うち市負担分(千円)	651	819	842	910	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
セアカゴケグモ駆除回数	回	20	31	26	30
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
衛生害虫の駆除を行い、感染症予防対策及び快適な生活環境の保全を図った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	特記事項なし
------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特記事項なし
-----------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 感染症予防法に基づき、感染症の蔓延を未然に防止するため、継続して行う必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	①	公害防止対策の推進

事業名	公害測定事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下・悪臭に関する各法令に基づき、工場及び事業場等からのばい煙・排水・騒音・振動・悪臭等について、必要な指導・規制等を行い、生活環境を保全することにより、市民の健康の保護に資することを目的とする。
(事業概要等)
大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下・悪臭に関する各法令に基づく、事業場立ち入り・指導・規制事務、及び大気分析、河川水分析、自動車騒音測定業務

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,682	3,674	1,936	7,339	
うち市負担分(千円)	0	0	0	3,307	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
測定調査数	種類	3	5	3	4
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業所規制における水質の行政検査を行うことで、水質汚濁の防止を図った。河川の水質検査を行うことで、水質汚濁状況の経年変化を検証した。騒音の常時監視を行い、道路騒音状況の経年変化を検証した。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	特記事項なし
------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特記事項なし
-----------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業所規制・指導事務については、公害関連法令に基づく事務であるとともに、公害対策上基本的な指標となるものであり、継続して実施する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	4R推進事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、循環型社会の形成に向けて4Rに関する取り組みを推進し、ごみの排出抑制や更なる資源化を図る。
(事業概要等)
4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の推進に関する事業を実施する。 公共施設への給水スポットの設置、夏休みエコバスツアーの開催、啓発グッズやパンフレットの作成、ごみ分別アプリや出前講座等の実施により、ごみ分別・削減への意識啓発を図る。 また、ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」を活用し、環境美化活動の可視化と更なる活性化を図る。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,564	2,276	2,356	3,773	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
エコバスツアー参加人数	人	0	0	15	40
ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」の新規利用アカウント数	人	13	9	16	20
給水機使用に係るペットボトル削減量(市役所設置分・1本500ml換算)	本			13,400	26,800
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみの減量化を推進し、資源化に対する理解を深め、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上が図られた。 (令和2年度および3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、エコバスツアーは中止した。)					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	ピリカの新規登録や利用促進のため、キャンペーン期間内にピリカを用いて清掃活動した人に抽選でエコ関連グッズをプレゼントする企画を実施した。 また、市役所内に給水機を設置し、10月からは使用量を計測するため流量計を設置した。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	ピリカ利用促進キャンペーンを実施したが、利用者については既に定期的に活動している方が大半で、新規利用者は少数に止まったので、利用促進に向けた更なる取組が必要である。 また、更なるマイボトル利用促進のため、公共施設への給水機設置を拡大していく必要がある。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみ減量及び再資源化の施策として効果的であると認められるため。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	ごみ減量機器購入助成事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、一般家庭から排出される生ごみの減量化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上を図る。

(事業概要等)

ごみ減量機器購入者に対し助成金を交付し、一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進する。

(購入費用の3分の2以内、上限40,000円)

また、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上を図る。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	685	711	914	1,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
生ごみ処理機購入助成件数	件	24	28	29	35

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

ごみ減量機器購入者に対し助成金等の交付を行うことで、一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民に対してごみ減量の意識向上が図られた。

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	特記事項なし
---------------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみ減量及び資源再利用への施策として効果的と認められるため。
改革・改善 策等の具体 的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	一般家庭ごみ減量化推進事業(地域環境基金活用事業)	担当課名	環境課
-----	---------------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、家庭から出るごみの減量・分別、リサイクル意識の向上を図る。
(事業概要等)
家庭から出る可燃ごみについては、市の指定する有料の指定袋制とすることで、ごみの減量化に努める。また、ごみの減量、分別、リサイクル意識の向上を図るため、適正に排出されていないごみについては、作製した注意シールを貼付するなどにより啓発を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	61,298	37,297	31,476	45,711	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
一般家庭ごみ(可燃ごみ)収集量	トン	10,675	10,610	10,069	10,070
一人一日あたりの一般家庭ごみ(可燃ごみ)排出量	グラム	395	396	377	380
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
指定袋制の導入により、一般家庭ごみ(可燃ごみ)量は減少している。令和4年度の一人一日あたりの一般家庭ごみ(可燃ごみ)排出量は、指定袋制導入前の平成21年度と比較して、約26%の減量効果があった。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	特記事項なし
------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	原油価格の高騰などにより、指定袋の作製費が今後上がる可能性がある。
-----------------	-----------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみの減量化施策として有効な事業であるため。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	一般家庭ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、市民が安心快適に生活が営めるよう、可燃ごみの適切な処理体制の充実を図る。
(事業概要等)
市内の一般家庭等から排出される可燃ごみの収集運搬業務を委託する。 収集方法は戸別収集を原則とし、収集回数は週2回とする。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	271,937	273,866	281,033	293,254	
うち市負担分(千円)	271,937	273,866	281,033	293,254	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
一般家庭ごみ(可燃ごみ)収集量	トン	10,675	10,610	10,069	10,070
一人一日あたりの一般家庭ごみ(可燃ごみ)排出量	グラム	395	396	377	380
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本業務に精通しているごみ収集業者が確実に業務を実施したことで、生活環境の保全及び公衆衛生の維持に寄与できた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	特記事項なし
---------------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	資源ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、資源の再利用を推進するため、市民及び事業者に分別収集の徹底を啓発し、焼却ごみ量を抑制し、再資源化を図る。
(事業概要等)
かん、びん、せともの類、古紙類、ペットボトル、容器包装プラスチックの資源ごみの収集運搬を委託する。収集回数はかん、びん、せともの類は月2～3回、古紙類は月2回、ペットボトル、容器包装プラスチックは週1回とする。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	219,269	226,585	226,943	230,651	
うち市負担分(千円)	214,062	223,047	222,339	227,451	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
家庭系資源ごみの収集量	トン	2,509	2,497	2,576	2,580
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
かん、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック、古紙等を回収することにより、資源の有効利用、リサイクルの推進が図られた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	プラスチック資源循環促進法の施行により、容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化が求められる。
---------------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 焼却ごみ量を減らし、再資源化を推進するため、分別収集の徹底を図るとともに、プラスチック資源循環促進法に係る対応について検討する。
改革・改善 策等の具体的 内容	容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化については、受入先である泉北クリーンセンター並びに構成市である和泉市及び高石市との兼ね合いもあるため、今後協議を進めていく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	小型家電リサイクル推進事業	担当課名	環境課
-----	---------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、小型家電の再資源化を促進するため、経済的インセンティブを働かせ、ごみの減量化や資源再利用を推進するとともに、排出者の利便性の向上を図る。
(事業概要等)
小型家電リサイクル法の認定事業者のうち、宅配便による戸別回収を実施する事業者に対し補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	771	648	515	980	
うち市負担分(千円)	771	648	515	980	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
申込件数	件	1,261	1,068	905	1,000
補助対象件数	件	1,102	925	735	900
回収重量	kg	16,156	10,414	8,681	10,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
認定事業者により、レアメタル等の再資源化が図られた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	特記事項なし
------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	数年前と比べて実績値の減少が見られるため、利用拡大に向けて周知を図る必要がある。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみ減量及び再資源化の施策として、効果的であると認められるため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	食品ロス削減推進事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、一般家庭から発生する食品ロスを削減するため、講座等を開催し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識啓発を図る。
(事業概要等)
食品ロス削減に係るパネル展(食ロス展)の開催や啓発物品を作製する。 令和5年度は、市民から環境に優しい「エコな料理レシピ」を募集し、市ホームページやSNSなどに掲載することで、環境に対する意識醸成を図る。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	282	0	77	100	
うち市負担分(千円)	282	0	77	100	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
参加人数(食ロス講座)	人	/	/	42	/
エコ料理レシピ応募件数	件	/	/	/	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識啓発が図られた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	食品ロス削減をテーマとしたカードゲームを活用して、ごみの削減や食品ロスに関する問題等について、子どもが楽しく学ぶことができる講座を実施した。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特記事項なし
-----------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみ減量の施策として効果的であると認められるため。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	粗大ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、粗大ごみの有料収集を維持するとともに、電話等予約制により、粗大ごみの収集運搬を効率的に行う。

(事業概要等)

粗大ごみを排出する市民が、電話等で粗大ごみ申込センターに申込みをした際、排出者に収集日を通知し、申込センターで収集計画を立て、委託業者に連絡する業務を委託する。

当該粗大ごみの収集および運搬についても業務委託とする。

また、粗大ごみに貼付する粗大ごみ収集券を市内及び隣接市の取扱店での販売を委託する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	40,333	40,463	38,267	43,166	
うち市負担分(千円)	28,933	29,498	28,789	32,516	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
電話による相談件数	件	11,347	10,620	9,817	9,500
粗大ごみ受付件数	件	11,230	10,515	9,410	9,200
インターネットによる受付割合	%	18.3	20.4	22.6	25.0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

粗大ごみが道路を長時間占拠することもなく、効率的に収集することができた。

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	特記事項なし
---------------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	地域環境美化事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、清掃活動団体の活動後の廃棄物の回収を実施し、環境美化を推進する。
(事業概要等)
清掃活動団体の活動後の廃棄物を収集し、泉北クリーンセンターに運搬する。廃棄物の収集については、週1回、業務委託により実施する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			1,351	2,078	
うち市負担分(千円)			1,351	2,078	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
ボランティア清掃ごみ(可燃ごみ)回収量	トン	211	209	240	250
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	令和4年度からの新規事業
----------------	--------------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	週1回の収集としているため、ボランティア清掃団体によっては、水曜日等の週の半ばに実施したり、市への回収依頼が無いこともあり、回収までに数日程度の時間を要するが生じている。
---------------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	良好な市街地の整備

事業名	不法広告物撤去事務	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、屋外広告物法、大阪府屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置並びにこれらの維持について、規制、指導、除去を行うことで、良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、又は公衆に対する危害防止を目的とする。
(事業概要等)
屋外広告物の規制・指導事務、不法屋外広告物の簡易除却業務

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,100	1,127	729	828	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
撤去広告物数	枚	72	55	30	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
広告物の規制及び撤去等により、撤去広告物は、年々減少傾向にあり、良好な風致の形成及び危害防止に寄与している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	特記事項なし
---------------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 関係法令等に基づき、景観の形成、風致の維持、公衆衛生のため、継続して実施する。
改革・改善 策等の具体的 内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	有価物集団回収助成事業	担当課名	環境課
-----	-------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、ごみの分別収集の徹底を啓発し、焼却ごみ量を抑制し再資源化を図る。
(事業概要等)
集団回収実施団体が自主的に新聞、雑誌、ダンボール等の古紙を回収した場合に助成金の交付を行い、ごみの減量化及び資源再利用に対する市民意識の向上を図る。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	14,111	13,849	13,220	25,000	
うち市負担分(千円)	10,079	9,892	9,443	16,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
集団回収量	トン	1,718	1,679	1,596	1,600
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみの減量化及び資源再利用に対する市民意識の向上が図られた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	自治会員の減少などにより集団回収を利用していない方が増えており、集団回収量の減少が見られる。
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみ減量及び資源再利用への施策として効果的であると認められるため。
改革・改善 策等の具体的 内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	し尿処理事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、公共下水道未接続及び未整備地区のし尿処理の充実を図り、また、災害時浸水に伴う、し尿の適正処理及び環境衛生の確保を図る。
(事業概要等)
公共下水道未接続、及び未整備地区において、一般家庭のし尿汲取り業務を行った許可業者に対し、補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,769	6,573	7,500	8,070	
うち市負担分(千円)	6,769	6,573	7,500	8,070	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
収集量	kL	1,986	1,734	1,846	1,800
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
し尿の適正処理により、環境衛生の確保ができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	平成29年度より、収集人口の減少に伴い収集経費の割合が困難となってきたため、くみ取り補助金を300円から350円とし、令和2年度(5月)からは、350円から550円に引き上げた。令和4年度は、必要経費を勘案した定額補助に見直した。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	し尿汲み取り人口の減少により、収集効率の非効率化が益々進んでいる状況にあるため、くみ取り補助金額の見直しが必要である。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) し尿の適正処理及び環境衛生の確保を図るために必要な事業であるため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	一般事務事業(環境課)	担当課名	環境課
-----	-------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、市民が安心快適に生活が営めるよう、ごみ減量化及び資源化に係る総合調整を行い適切な企画の充実を図る。
(事業概要等)
ごみ及びし尿処理に関する相談、受付、苦情処理に係る業務のほか、ごみの収集計画、ごみ減量化対策及び資源化など総合企画調整に関する業務を行う。 また、「ごみゼロ大作戦」や「スポGOMI大会」の運営など、ごみ拾い活動の啓発に関する業務を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,880	2,878	2,921	3,743	
うち市負担分(千円)	2,532	2,526	2,499	3,393	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
スポごみ大会の参加申込人数	人	44	100	62	80
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみ拾い活動の啓発を行い、まちをきれいにする意識と海洋漂着ごみ等のプラスチックごみの削減に係る意識の向上が図られた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	ごみゼロ大作戦の実施方法について、団体での清掃活動と個別での清掃活動の2種類の方法に変更し、参加者募集を行った。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特記事項なし
-----------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・環境美化の推進

事業名	環境保全対策事務事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく野生鳥獣の飼養登録、鳥獣の捕獲許可(鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に関する被害の防止を目的とする。)及び環境保全条例に基づく空き地の適正管理を促し、環境保全を図る。
(事業概要等)
鳥獣の飼養登録・捕獲許可事務及び有害鳥獣(アライグマ等)の個体措置等並びに空き地の適正管理指導の環境保全事業

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	16	107	33	44	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
飼養登録及び捕獲許可件数	件	59	56	63	50
有害鳥獣個体措置件数	件	1	4	1	5
空き地適正管理指導件数	件	73	49	50	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
鳥獣の飼養登録及び捕獲許可並びに有害鳥獣の個体措置を行い、鳥獣の保護を図った。また、環境保全条例に基づき、空き地の適正管理を図った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	特記事項なし
---------------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 関係法令等に基づき、鳥獣の保護、空き地の適正管理指導については、環境保全上、引き続き実施する必要がある。
改革・改善 策等の具体的 内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	死獣収集事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、まちなみや景観美化、環境衛生の維持を図る。
(事業概要等)
市内道路など、公共の場所において放置されている飼主不明の動物死体を收容し、火葬場へ運搬する業務を委託する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,737	4,510	4,510	4,511	
うち市負担分(千円)	4,404	4,406	4,399	4,406	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
回収匹数	匹	319	326	279	270
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
業務委託により動物死体の迅速な収集処理が図られた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	特記事項なし
---------------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	清掃分室維持管理事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、不法投棄への対応を通して、まちなみ・景観美化の維持を図る。
(事業概要等)
清掃活動団体の活動の支援、不法投棄の啓発や監視を行い、即時処理、苦情処理の対応を行う。 また、不適正排出があった場合には、原因者と思われる住民(または当該場所の周辺住民)に啓発を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,021	702	950	1,047	
うち市負担分(千円)	8,021	702	950	1,047	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
環境美化、不法投棄等ごみ回収量	トン	4	3	3	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
衛生委員会及び各清掃活動団体の環境美化活動の推進が図られた。 また、不法投棄防止のための市内パトロールの実施、不法投棄ごみの回収により、まちなみ・景観美化の維持が図られた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	特記事項なし
---------------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 清掃分室が土木課へ移管となるため。
改革・改善 策等の具体的 内容	清掃分室が行っていた不法投棄ごみの回収については、次年度より業務委託により行う予定である。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・環境美化の推進

事業名	団体等育成支援事業(環境課)	担当課名	環境課
-----	----------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、衛生委員会・公衆浴場業生活衛生同業組合の活動を支援し、環境美化・公衆衛生の向上及び増進を図る。
(事業概要等)
公衆衛生の向上及び公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律の規定に基づき、公衆浴場生活衛生同業組合の支援を図るとともに環境美化、環境衛生の向上のため衛生委員会に対する支援を図る。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	916	926	924	1,151	
うち市負担分(千円)	916	926	924	1,151	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
補助金額	千円	862	862	862	862
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
環境美化・公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に寄与するとともに、環境啓発及び公衆衛生の普及を図った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	特記事項なし
---------------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 環境美化、公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上を図るため、引き続き実施する必要がある。
改革・改善 策等の具体的 内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	中央公衆便所維持管理事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項に規定される公衆便所を大津神社境内に設置し、公衆衛生の維持を図る。
(事業概要等)
利用頻度の高い大津神社内の中央公衆便所を維持するため、光熱水費の支払いや清掃業務を委託し、清潔の維持を図る。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,359	1,910	859	993	
うち市負担分(千円)	1,075	1,040	859	993	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
利用者推計として、水道使用量	m ³	119	103	115	120
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
利用しやすい公衆便所としての維持管理が図られた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	施設の老朽化や破損が見られることから、今後、大規模修繕を要する可能性がある。
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 生活環境の保全及び公衆衛生の維持に必要な事業であるため。
	改革・改善 策等の具体的 内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	不法投棄防止啓発事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、不法投棄防止対策及び環境美化の推進を図る。
(事業概要等)
地域環境基金を活用し、市内全域において不法投棄監視パトロールを行う。 また、啓発看板を設置することで、ごみの減量・分別への意識啓発及び不法投棄を抑止する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,228	1,088	900	1,080	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
環境美化、不法投棄等ごみ回収量	トン	4	3	3	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)	泉大津市衛生委員会に不法投棄監視パトロール業務を委託し、市内巡回パトロールを行うことで、違反ごみ、不法投棄ごみに対し、迅速に対応できた。				

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	特記事項なし
----------------	--------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	特記事項なし
---------------------	--------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 不法投棄の防止や環境美化の推進に必要な事業であるため。
改革・改善 策等の具体 的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	雨水タンク購入助成事業	担当課名	環境課
-----	-------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、総合的な治水対策及び資源の有効利用の一環として、雨水の流出抑制と有効利用を図る。
(事業概要等)
自宅建物の雨どい等に接続し、溜まった雨水を低木等への散水用として使用してもらうために、住宅用雨水タンクの購入者に対して補助を行う。
購入費の2分の1以内、上限15,000円

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	57	121	7	150	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
補助金交付件数	件	4	7	4	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
雨水タンクを設置する者に対して、補助金を交付することにより、総合的な治水対策及び資源の有効利用の促進を図った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 雨水の流出抑制と有効利用を図るとともに、環境意識の向上のため、継続して実施する。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	高効率エネルギーシステム設置助成事業	担当課名	環境課
-----	--------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、地球温暖化防止対策の一環として、市民の自主的な取組を積極的に支援し、環境への負荷の少ない循環型社会に変革する環境保全意識の高揚を図るため、高効率給湯器を設置する者に対し補助金を交付する。
(事業概要等)
地球温暖化防止対策のため、エコジョーズ、エコキュート及びエネファーム等の高効率給湯器の設置者に対して助成を行い、省エネルギー設備の普及促進により、温室効果ガスの排出量削減を図る。
エコジョーズ上限10,000円、エコキュート上限20,000円、エネファーム50,000円

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,570	3,660	4,830		R05はゼロカーボンシティ推進事業として実施
うち市負担分(千円)	0	0	0		

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
補助金交付件数	件	179	153	230	190
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
高効率給湯器を設置する者に対して、補助金を交付することにより、温室効果ガス排出量の削減と環境保全意識の高揚を図った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	令和5年度から、ゼロカーボンシティの認知度向上、手続きの簡素化等を図るため、「高効率エネルギーシステム設置助成事業」「住宅用太陽光発電システム設置補助事業」「新エネルギー導入促進」を集約し、「ゼロカーボンシティ推進事業」として実施する。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地球温暖化防止対策として、市民の環境意識の向上のために有効な施策であるので、継続して実施する。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	自転車活用促進事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、子育て中の世帯に対し幼児2人同乗用自転車への購入助成を行うことで、子育て世帯にも安心安全な自転車の利用を促進し、環境に配慮するとともに子どもにやさしいまちづくりを推進する。
(事業概要等)
幼児2人同乗用自転車の購入者に助成を行うことで、子育て支援を行うとともに、自動車利用の抑制することにより、温室効果ガス排出量の削減を図る。
・電動アシスト無: 上限20,000円・電動アシストあり: 上限35,000円 ・市内事業者での購入の場合、電動アシスト無: 上限30,000円・電動アシストあり: 上限45,000円

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,858	3,225	3,408	4,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
助成金交付件数	件	66	74	80	93
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
幼児2人同乗用自転車の購入者に助成することで、子育て支援を行うとともに、自転車利用を抑制し、温室効果ガス排出量の削減により、地球温暖化対策を図った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	令和5年度から、年度末に購入する場合に申請まで時間的に余裕がない場合があるので、申請期間を購入した年度内から、購入後1年以内に変更した。また、市内事業者での購入を促すため、市内店舗と市外店舗で同一金額であったのを、金額に差をつけた。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 幼児2人同乗用自転車の普及により、自動車利用を抑制し温室効果ガスの排出を抑制するとともに、安全で子どもにやさしいまちづくりを推進していくため、引き続き実施する。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地球の保全

事業名	住宅用太陽光発電システム設置補助事業	担当課名	環境課
-----	--------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、地球温暖化防止対策を推進し、持続可能な低炭素社会を形成するため、住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し補助金を交付することにより、本市における自然エネルギーの活用を促進するとともに、市民の自主的な環境保全に関する取組を支援することを目的とする。
(事業概要等)
地球温暖化防止対策のため、住宅用太陽光発電システム設置者に対して補助を行い、再生可能エネルギー設備の普及促進により、温室効果ガスの排出量削減を図る。
出力1kw当たり15,000円、上限90,000円

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,135	2,280	3,090		R05はゼロカーボンシティ推進事業として実施
うち市負担分(千円)	0	0	0		

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
補助金交付件数	件	43	29	42	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、補助金を交付することにより、再生可能エネルギー設備の導入を促進し、温室効果ガスの排出量削減を図った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	令和5年度から、ゼロカーボンシティの認知度向上、手続きの簡素化等を図るため、「高効率エネルギーシステム設置助成事業」「住宅用太陽光発電システム設置補助事業」「新エネルギー導入促進」を集約し、「ゼロカーボンシティ推進事業」として実施する。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地球温暖化防止対策及び市民の環境意識の高揚を図るために有効な施策であるので、引き続き実施する。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	新エネルギー導入促進事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、省エネルギー・再生可能エネルギーに対する理解と知識を深める機会として、環境教育やCOOL CHOICEアプリなどを通じ、市民や企業等に対して普及啓発を行い、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上を図ることを目的とする。
(事業概要等)
イベント、セミナー、アプリを活用した啓発等を通じて、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上を図る。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	10,872	10,077	12,449		R05はゼロカーボンシティ推進事業として実施
うち市負担分(千円)	0	0	0		

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
イベント・講座等での啓発	回	26	36	1	5

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
省エネ・再エネに対する理解と知識を深める機会として、環境教育やCOOLCHOICEアプリなどを通じ、市民や企業等に対して普及啓発を行うことにより、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上を図った。 なお、事業実績・成果に記載しているイベント・講座等での啓発の回数のうち、学童保育・就学前施設等での実施については、R3まで本事業で実施してきたが、R4年度から施設所管課の事業として実施しており、R4の回数には反映していないため回数減となっている。

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	令和5年度から、ゼロカーボンシティの認知度向上、手続きの簡素化等を図るため、「高効率エネルギーシステム設置助成事業」「住宅用太陽光発電システム設置補助事業」「新エネルギー導入促進」を集約し、「ゼロカーボンシティ推進事業」として実施する。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 環境意識の向上を図り、地球温暖化防止対策の普及啓発を行うため、引き続き実施する。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	緑のカーテン推進事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、環境になるべく負荷のかけない緑のカーテンの普及促進を図ることにより、地球温暖化防止対策の啓発を目的とする。
(事業概要等)
公共施設並びに家庭等につる性植物を用いた緑のカーテンを設置し、室内温度の上昇を抑制することにより、エアコンの使用時間を減少し温室効果ガス排出量の削減を図る。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	905	726	110	293	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
公共施設設置箇所	箇所	21	18	8	8
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
緑のカーテンを各公共施設に設置することで、温室効果ガスの削減と市民の環境意識への啓発を行い、地球温暖化防止対策を図った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	緑のカーテンの設置・撤収を業務委託から、物品配布、施設職員による設置に変更した。 令和5年度から、各家庭での設置を促すため、6/5環境の日前後で実施する啓発パネル展示に 合わせて、ゴーヤ苗の配布を行う。
----------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	
---------------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地球温暖化防止対策及び環境共育に有効な施策であるため、引き続き実施する。
改革・改善 策等の具体 的内容		